

文 部 省

職甲第六二三號

文部省直轄學校圖書館及公立學校職員
優遇ニ關スル意見別紙提出候ニ付可然
御取計相煩度此段及御依頼候也

明治四十五年五月九日

文部次官福原鑠二郎



内閣書記官長南弘殿

内閣書記官長南公規

文部大臣南公規

明治三十四年四月廿日

御旨に依り、文部大臣南公規に、

文部省圖書部長に任ぜらるるに付、

文部省圖書部員

南公規

文部省

一、直轄諸學校長ニシテ高等官二等ニ叙セラレ在職

十年以上ニシテ功績顯著ナル者ハ特ニ高等官一等

ニ陞叙スルヲ得ルノ途ヲ開カレタキ件

現今ニ於テハ直轄諸學校長ノ官等ハ勅令ニ

依リ高等官二等以下ト定メラレタリ然ルニ帝

國大學教授ノ如キハ年功ニ依リ高等官一等ニ

陞叙セラレ事實ニ於テハ全部ノ教授皆高等

官一等ニ進ムトヲ得ルノ狀況ナリ翻テ直轄諸

學校長ヲ見レハ其ノ地位ニ於テ其ノ責任ニ於テ

決シテ帝國大學教授ニ劣レリト云フヘカラス然ルニ

現今ノ實際ニ於テハ人物成績共ニ優秀ナル

學校長ニシテ多年奉職セル者アルモ更ニ之ヲ

優遇スルノ途ヲ講スルコトヲ得サルハ頗ル遺憾トス
ル所ナリ過般各省局長ノ如キ五年以上高等
官ニ等ニ在リ功績顯著ナル者ハ特ニ高等官
一等ニ陞叙セラレノ途ヲ開カレタルヲ以テ此ノ際
直轄諸學校長ニシテ高等官ニ等ニ叙セラレタル
後十年以上直轄諸學校長ノ職ニ在リ功績
顯著ナル者ハ特ニ高等官一等ニ陞叙スルヲ得
ルノ途ヲ講セラレシコトヲ望ム

尚帝國圖書館ノ如キモ高等官ニ等ニ進ムルヲ
得シラレシコトヲ望ム

二、直轄諸學校(盲學校聾啞學校ヲ除ク)ニ於テ教授定
員ノ少クトモ三分一以上高等官ニ等ニ陞叙スルヲ得
ルノ途ヲ開カレタキ件

直轄諸學校ノ教授ハ五年以上高等官三等ニ在
リ功績アル者ハ各學校ヲ通シテ二十七人ヲ限リ高等
官ニ等ニ陞叙スルコトヲ得(現在直轄學校數ハ
三七)但シ一校二人ヲ超ユルコトヲ得スト規定セラ
レタルヲ以テ之ヲ帝國大學教授ニ比較スルトキハ
其ノ待遇ニ於テ著シキ懸隔アリ是ヲ以テ學力
人物共ニ帝國大學教授ニ比シテ毫モ遜色ナキ
優秀ナル教授ニシテ多年其ノ職ニ在ルモ之ヲ優
遇スルノ途ナレ而モ其ノ俸給ノ如キモ豫算ノ
關係上平均額以上ニ上スニトハ極メテ困難ナル
事情アリ是ヲ以テ實業專門學校ノ教授ハ勤
モスレハ實業界ニ吸收セラレ醫學專門學校ノ
教授ノ如キハ之ヲ捨テ醫術ヲ開業セントスル者

續出セントスルノ傾向アルハ洵ニ遺憾トスル所ナリ
而モ是等ノ者ニ對シテ俸給ノ關係ヲ離レテ優
遇ノ途ヲ講スル唯一ノ方策ハ其ノ官等ヲ進メ
之ニ伴フノ名譽ヲ享受セシムルニアルノミ故ニ此ノ
際直轄諸學校ノ教授ハ少クトモ其ノ三分ノ一
以上高等官二等ニ陞叙セラレ得ルノ途ヲ講セ
ラレシムトヲ望ム

三、中等學校教員ニシテ奏任待遇ヲ受クル者ノ數ノ 制限ヲ除カレタキ件

現行制度ニ於テハ中等程度ノ學校ニ於テ學校長
ヲ除キ各學校三人ヲ限り特ニ奏任待遇ト為スコ
トヲ得ルノ規程ナルヲ以テ實際優良ナル教員モ
其ノ優遇ノ途ヲ講スル能ハス地方費ノ著シク膨

脹セルノ今日俸給ヲ増加スルコトハ極メテ困難ニシテ
此ノ點ニ於テ優遇ノ途ヲ講スレハ更ニ難事ナリ
之ヲ歐西諸國ノ中等程度ノ教員ニ攷フレハ佛
國ノ「リセ」獨逸ノ「ギムナジウム」レアル「シエ」プロギ
ムナジウム等ニ於ケル教員ノ如キハ孰レモ皆高等
官又ハ高等官待遇ニシテ其ノ官等ニ於テ其ノ
俸給ニ於テ大學教授ヲ距ル僅ニ一步ノミ我
國ノ實際ニ比シテ甚レキ程度アリ抑、中等
教育ノ重要ナルハ言ヲ俟タス其ノ改善ヲ圖リ
健全ナル國民ノ中堅ヲ養成スルハ目下焦眉ノ
急務ナルカ故ニ優良ナル教員ヲ招致スルカ為メ
ニ之カ待遇ヲ高ムルノ必要アリ況ニヤ諸外國ノ例
已ニ彼ノ如シ又陸軍幼年學校、學習院等ノ

事例ニ觀ルモ我中等學校教員ノ待遇非薄ナルハ實ニ同情ニ堪ヘサル所ナリ故ニ此ノ際現行制度ヲ改正シ奏任待遇者ノ數ノ制限ヲ撤廢セラレ成績優良ニシテ年功アル者ハ皆奏任待遇ニ進ムルノ途ヲ講セラレシムトヲ望ム但シ其ノ履歷ニ依リテ奏任待遇ニ進ムルノ年數ヲ異ニスル如キ内規ヲ設ケラルヘコトハ固ヨリ必要アリト認ム

四、中等學校長ノ相當官等ヲ高ノ師範學校長ハ持テ高等官三等ニ陞敘スルヲ得ルノ途ヲ講セラレタキ件
現行法ニ於テハ中等學校長ノ相當官等ハ五等以下ニ限ラレ師範學校長ノ官等ハ持テ高等官四等ニ陞敘スルヲ得ルノ規定ナルモ直轄諸學校長ノ

待遇ヲ改メラルベキ於テハ彼此權衡ヲ得シムルカ為ニ是等ヲシテ持テ高等官三等若クハ三等相當ニ敘スルヲ得ルノ途ヲ講セラレ以テ優遇ノ趣旨ヲ明ニセラレタキコト

五、學校ニ於ケル奏任待遇者ノ敘位敘勲ノ年限ノ計算ヲ奏任官ト同一ニシ且其ノ辭令ノ形式ヲ改正セラレタキ件

中等學校ニ於ケル奏任待遇者ノ敘位ノ年限ノ計算ハ奏任官ニ比シテ初敘ニ於テ三年ノ差アリ進階ノ場合ニ於テ各一箇年ノ差アリ敘勲ハ奏任官ニ比シテ待遇官在職年數ノ三分ノ一ヲ減セラル待遇者ハ國家ノ官吏ニアラスト雖モ是レ唯俸給ノ財源ヲ異ニスルカ為メ其ノ執ル所ノ

職務ニ至テハ官立學校ノ職負ト毫モ相異ナル所
ナシ故ニ是等ノ内則ヲ改正シ奏任官ト同一ニセラ
レシコトヲ望ム尚判任待遇者ニ對シテハ敘位ノ
途ナリ敘勲ハ奏任待遇者ト同一ノ判任官ニ比
シ其ノ年數ヲ減セラルルニ依リ是等ニ對シテモ
判任官ト同様ニ改正アラシメトヲ望ム
尚奏任待遇者ノ辭令ニハ從來官等ヲ記載
セラレサルノ例ニシテ勅令ニ依リテ各俸給ニ相當
セル官等ニ配當セラルルモ今後ハ奏任官ノ辭令
ニ倣ヒ校長又ハ教諭ニ任スル高等官何等相當
ト記載セラレシメトヲ望ム是レ其ノ位地ヲ明確
ナラシムルニナラス現在ノ制ニ於ケル其ノ俸給額ニ
應シ官等ニ配當スルヲ改メ高等官ト同一トク一

定ノ年限ニ依リ進級ノ途ヲ開カルルニ於テハ經費
ニ關係ナクシテ優遇ノ趣旨ヲ明ニスルノ效果アリ
ト信スルヲ以テナリ
六、教員ニシテ奏任待遇ヲ受クル者カ帝國大學教授及
直轄諸學校等ノ校長教授ニ轉任ノ場合ニ待遇
官ノ在職年數ヲ通算シ得ルノ途ヲ開カレタキ
件

奏任待遇ノ教員カ帝國大學及直轄諸學校ノ
教授校長ニ轉任スル場合ニハ相當官在職ノ年
數ヲ以テ奏任官在職ト同一ニ看做シ其ノ年數
ヲ通算シテ高等官ノ相等官ニ任セラルルノ途ヲ
開カルルハ極メテ必要ナリ現行法ニ依ルハ學力ノ
如何ニ優秀ナル者モ或ハ多年中等教育ニ經

職ヲ有スル者モ奏任教官校長等ニ轉任ノ場合ニハ六等以上ノ待遇ヲ以テスルコトヲ得ス而モ中等學校ノ教員ニハ帝國大學ヲ卒業セル者尠カラス是等ノ中優秀ナル學識ヲ有シ教育ニ関シ相當ノ經驗ヲ有スル者アリトスルモ之ヲ奏任教官校長等ニ轉任セシメントセハ已ヲ得ス六等官以上ニ上ラレムルコト能ハサルヲ以テ優良ナル人物モ轉任セシムルコト能ハサル場合アリ是故一旦公立學校ニ奉職シテ多年ヲ經タル者ハ之ヲ官立學校ニ轉任セシムル少壯者ノ下ニ班セシムルコト實際ニ於テ不能ナルカ為メ之ヲ實行スルコト能ハス公立學校職員ハ昇進ノ道ヲ杜絶セラルルノ結果ヲ生シ有カ者ヲシテ公立學校ニ奉職スルハ畢竟沈淪

外ナラストノ感想ヲ抱カシムルニ至ル斯ノ如キハ中等教育ノ發達ヲ希圖スル所以ニアラサルヘシ故ニ文部部内ノ奏任教官校長等ニ轉任ノ場合ニ限リテ待遇官ノ年數ヲ通算スルノ途ヲ開カレンコトヲ望ム

七、公立ノ專門學校長若クハ教諭ヲ勅任待遇ト為スノ件

現行法ニ於テモ官立專門學校ノ學校長及教授ノ或部令ハ特ニ高等官ニ等ニ陞叙セラルルコトヲ得ルモ公立ノ專門學校ニ於ケル學校長及教諭ハ其ノ地位責任亦略ホ同等ナルニ拘ラス斯ノ如キ特典ニ浴スルコト能ハスレテ學校長ハ奏任官三等以下教諭ハ四等以下ノ待遇ヲ受クルニ過

キス故ニ此ノ際直轄諸學校長教授トノ權衡上公立專門學校ニ於ケル學校長及教諭ノ或部部分ヲ勅任待遇ト為スコトヲ得シムルノ途ヲ開カレシコトヲ望ム

八、學問技術ノ優秀ニ或ハ人格閱歷ノ卓越セル人士ヲ民間ヨリ採用セントスル場合ニハ文部部内ノ校長、教授、限り持ニ官等ノ制限ヲ受クルコトナクシテ拔擢任用シ得ルノ途ヲ開カレタキ件

現時ノ實際ニ於テハ學問技術ノ優秀ナル人士ニシテ民間各種ノ業務ニ従事セル者尠シトセス帝國大學ヲ卒業セル俊秀ナル人材ノ如キモ約半数ハ官途ニ就職スルモ半数ハ民間ニ在リテ各種ノ實業ニ従事セルノ狀況ナリ是等民間ニ在リテ

諸種ノ事業ニ従事セル人々ノ中ニハ其ノ帝國大學ノ出身ナルト否トヲ問ハス學力人物共ニ俊秀ニシテ殊ニ其ノ專門ノ智識技術ニ至リテハ到底他ニ求ムルコト能ハサル如キノ人ニシテ中ニハ亦閱歷聲望内外ニ高ク手腕識見兼ネ備ハレル人士亦之レナシト云フヘカラス斯ル人々ヲ若シ學校長或ハ教授ニ採用セントスル場合ニモ現行法上ニ六等官以上ニ陞ラシムルコト不可能ナルヲ以テ在野ノ名士ハ之ヲ學校ニ招致スルコト全ク不可能ナリ故ニ此ノ際勅令ヲ改正セラレ右ノ如キ有爲ノ人士ヲ採用セントスル場合ニハ官等ニ拘ラス場合ニ依リテハ勅任官ニモ任用シ得ルノ途ヲ開カレシコトヲ望ム

